

平成30年度 鳴門市学校評価書

鳴門市撫養小学校

I 経営の重点に関すること

学校教育目標

A;大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D;課題である

項目	内容	中間評価	年度末評価	コメント
重点目標(重点的に求める価値目標)	課題をもって、主体的に取り組む子どもを育成する。		B	
具体的な取組 (組織として価値観を揃えて取り組むこと)	わかりやすく教えることと子どもに考えさせることのバランスを重視し、イメージする力を育てる。		B	
	自分の考えを持たせ、意識的に他者の考えと比較させ、話し合う力を育てる。		A	
	基本的な生活習慣と学習規律を育成し、あたりまえのことが、あたりまえにできる子にする。		B	
評価指標 (具体的な求める子どもの姿・行動目標)	熱中する子		B	
	本を読む子		A	
	規律を守り、自力で考え、ねばり強く勉強する子		B	
	撫養を知り、撫養に関わり、撫養を愛する子		B	
	体を鍛え、よく働く子		A	

スローガン いそがず、やすまず、自分から LOVE! READ! LEARN!

学校の自己評価・改善方針 学校経営ビジョンや経営方針を機会ある毎に知らせ、目的意識を持って取り組み成果を上げる。

学校関係者評価 定期的に会を催し、形成的評価を実施し、成果向上につなげる。

II 学校アセスメント

A;大変よい(90~100%), Bまあまあよい(89~80%), C少し課題を感じる(79~70%), D;課題である(69~0%)

大項目	中項目	学校の取り組み	中間評価	年度末評価	子ども調査	中間評価	年度末評価	保護者調査	年度末評価	A, Dについてはコメントを付す	
1 学習指導の充実	学習意欲の向上	魅力的な授業展開の工夫		A	1 先生はいつも分かりやすく教えてくれる		A	1 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる	A		
		基礎基本の定着	学力テスト・ステップアップテスト		A	2 漢字や計算の力がついてきている		A	2 子どもの学力状況はよく分かっている	A	
			単元末テスト・中間テストなど		A	3 成績に満足している		C	3 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる	B	
	思考・判断力の向上	学力テスト・ステップアップテスト		B							
		単元末テスト・中間テストなど		B							
	体力の向上	体力テストの結果など		B							
		体力づくりにつながる活動の実践		A	4 進んで運動し、体力づくりをしている		B	4 学校は、子どもの体力づくりに取り組み、効果を上げている	B		
	学習規律の定着	学習の仕方のルール作り		A	5 授業中に人の話を集中して聞いている		A	5 学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる	B		
		授業観察		A	6 宿題をきちんとしている		A	6 子どもは家庭学習(宿題)を、きちんとしている	A		
	課題解決的な学びの充実	「めあて」や「まとめ」を表示した授業実践		A							
	協働的な学びの充実	グループ学習の実践		A	7 グループで調べたり、課題を解決する学習が好きである		B				
	習熟に応じた指導の充実	習熟度学習の実践		B							
	ICT等を活用した指導の充実	ICT活用の授業の実践		A	8 電子教科書などを使った授業は好きである		B				
	特色ある指導	学習活動でタブレットの活用		A							

大項目	中項目	学校の取り組み	中間 評価	年度末 評価	子ども調査	中間 評価	年度末 評価	保護者調査	年度末 評価	A, Dについてはコメントを付す	
15 生徒指導 の充実	肯定的な自尊感情の向上	全ての子どもを全ての教職員で指導する体制作り		A	9	自分にはよいところがある		B	7	子どもは、自分のいいところについて理解している	B
		ほめて育てるを基本とした生徒指導の実践		A	10	先生は、頑張ったときほめてくれる		B	8	子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている	A
	自己指導力の向上	問題が起きたとき、子どもが自ら考え、判断できる指導実践		B	11	物事がうまくいかないとき、粘り強く対応できる		B	9	子どもは何事にも粘り強く、問題に取り組む	D
		家庭訪問等により、家庭と連携した指導体制作り		A	12	自分の判断で、行動するようにしている		B	10	子どもが粘り強く問題に取り組めるように、家庭でも応援している	B
	生活習慣・規律の定着	生活習慣の実態把握と向上への取り組み		A	13	身の回りのことは、自分で片付ける		B	11	子どもは、自分の身の回りのことを自分でしている	B
					14	朝は決まった時間に起きている		B	12	子どもはルールを守る意識が育っている	A
		あいさつの指導などを全学的に実施		A	15	先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている		B	13	子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている	C
	特色ある指導	自校独自の取組(校内委員会の定期的実施)		B							
23 特別活動 の充実	協同力の向上	学級活動のチェック		B	16	学級の係活動や掃除などに積極的に取り組んでいる		A	14	子どもは、人のことを大切にして、友達と仲良くしている	A
	自治的能力、責任感の向上	集会活動の実践		A	17	学級、学校の一員として、考えて行動している		B			
	表現力・社会性等の育成	朝会・集会の活用		A	24	3L活動を理解し、取り組んでいる		A			
26 進路指導 の充実	自ら主体的に判断して、キャリアを形成する力の向上	キャリア教育の計画の実施		A				15	子どもと、社会や将来のことを話し合っている	D	
	社会に関心を持ち、社会に関わる力の向上	ボランティア活動などの実践		A	18	地域の行事などに参加している		C			
		その他自校独自の取組()									
29 心の教育 の充実	子どもが相談しやすい環境の充実	子どもの相談体制の確立		B	19	先生は、悩み事があったとき、相談に乗ってくれる		B	16	子どもは学校のことをよく話してくれる	C
	不登校支援の充実	不登校児童・生徒に対する支援計画の作成		A	20	学校生活は楽しい		B	17	子どもは、楽しんで学校に行っている	B
	特色ある指導	全学年共通の重点指導価値項目の設定		A	25	仲良しの友だちがいる		A	23	子どもはゆとりある生活を送れている	C
32 安全教育 の充実	交通安全意識・行動力の向上	交通事故などを未然に防ぐ取り組み		A	21	事故などに遭わないように、日々気をつけている		A	18	子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている	A
	防災意識・行動力の向上	防災訓練などの取り組み		A	22	防災訓練などに、真剣に取り組んでいる		A	19	子どもと防災のことについて、家で話し合っている	D
	特色ある指導	保・幼・小合同避難訓練の実施		A							
35 人権教育 の充実	人権感覚の向上	いじめ対応などの確認		A	23	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う		A	20	学校は、いじめや生徒指導上の問題について、素早く適切に対応してくれる	C
		その他自校独自の取組()									
37 特別支援 教育の充 実	個別の支援計画に基づく指導の充実	支援が必要な子どもの指導計画の作成		A							
	通級学級との交流による社会対応力の向上	指導計画の全校での確認		A							
	特色ある指導	通常学級で支援が必要な子どもの共通理解		A							
40 開かれた 学校づく り	情報の提供	学校・学年・学級通信等の発行やホームページの充実		A				21	学校から、情報が十分提供されている	C	
	地域・家庭とのニーズの把握	地域・家庭との情報交換		B	26	養護のまちはすきだと思う		B	22	学校行事などに積極的に参加している	B
	保護者会の充実	懇談の機会の充実		A							
	PTA等との連携	定期的なPTA役員会等の開催		A							
	PTA等との連携	定期的なPTA役員会等の開催		A	27	お家の人は参観日や行事によく参加してくれる		A	24	PTA活動に積極的に参加している	B

大項目	中項目	学校の取り組み	中間評価	年度末評価	子ども調査	中間評価	年度末評価	保護者調査	年度末評価	A, Dについてはコメントを付す
46 学校経営の改善	校務分掌の組織化	校務の見直しや組織の改廃		A						
	教員の参画意識を高める	学校経営・運営ビジョンの共通理解		A						
	学校事務の効率化, 効果的な会議	情報の分類・整理の推進		A						
		その他自校独自の取組()								
50 教員研修の充実	共通テーマにそった研修	校内研修の充実		A						
	研修会等への参加と報告	受講研修内容の伝達の推進		A						
		その他自校独自の取組()								
51										
52										

学校の自己評価改善方策	特定の学級においてトラブルが多発し、その学級だけに見られる否定的な評価結果が、児童・保護者ともに散見された。一つのマイナス事案に多くの取り組み結果が大きく左右されるようである。今回の結果は、当たり前なことであるが、学校教育は、学級経営が基本であることを明確に物語っている。担引力の向上を図らねばならない。
-------------	--

学校関係者評価	○評価結果は全体的によいものであり、学校はよく努力していることがわかる。○いくつかの取り組みがマスコミでも紹介され、非常に嬉しい。○PTA活動が盛んであり、先生方と保護者が子どもたちのために連携し懸命に取り組んでいるのはすばらしい。○先生方は様々な問題に、苦勞しながらよく対応してくれている。□昨年度より良い評価結果の割合が落ちている項目が多く見られるのは残念である。□学級によりアンケート結果に他学級や他学年と大きな違いが見られる。特にトラブルへの対応状況でそのことが顕著である。トラブルには当然真逆の立場が生まれるし、その解決は難しいだろうが、双方が納得するようになるよう努めてほしい。先生のご苦勞もわかるが、今後も生活指導を大切に進めてほしい。□撫養地域にもっと関わりを持てる、魅力ある活動を起こす必要があるのではないか。□親子の対話をもっと活発になるよう、学校からも働きかけてほしい。
---------	--